

矢沢地域情報誌

やまぼろし

No. 41
2022年9月1日

発行 矢沢地域振興会(矢沢振興センター)内 電話29-5480 印刷/トーバン印刷機
mail : yashinkai025@gmail.com

平和への誓い新たに！ 令和4年度 矢沢地区戦没者追悼・平和祈念式

戦後77年を迎えた終戦記念日の8月15日、花巻市社会福祉協議会矢沢支部（佐藤和見支部長）では、コロナ禍の感染拡大防止対策を取りながら3年ぶりに矢沢振興センター講堂において矢沢地区戦没者追悼・平和祈念式を開催しました。

当日は、ご来賓7名、遺族会26名ら関係者52名が出席し、厳かに式典が執り行われました。国歌斉唱、黙祷、主催者式辞に続いて、川村伸浩岩手県議会議員、大和一信花巻市遺族連合会会長、大木昭郎矢沢地区遺族会会長の追悼の言葉がありました。



主催者式辞・佐藤智明副支部長

戦争と原爆の恐ろしさ、かつて多くの方が犠牲になった事実を知り、物語の主人公の「私たちは、戦争のことを忘れないでいた、二度と同じ目に合わない



献花する参列者の皆さん



平和への願い
矢沢小学校代表
石坂 楓 さん



最後に参列者全員で平和への願いを込め献花を行いました。ですむ」との言葉に共感したことを述べられました。そして現在行われているウクライナ戦争の悲惨さに目を向け、平和の尊さを訴え、全世界に平和が広がることを願い、更に戦争の犠牲になった方々への追悼の想いを込め、祈りを捧げ児童代表の言葉としたいと結びました。

みんなで取り組む 農地、環境保全活動

上駒板農地・水活動組織

代表 佐藤 和光

当上駒板地区は、下駒板地区、東和町安俵地区に隣接し、特認の中山間地であり戸数26戸、構成員32名、協定面積45・4haの小集落です。

私たちの活動は毎年4月の第一日曜日に役員による地区内の水路、農道、農用地のパトロールを実施し、破損箇所と要工事箇所を把握を行い、年間の活動計画を立案するところから始まります。

農地保全活動では、4月中旬から下旬にかけて6組の水路班を編成し、総延長約4・2kmの水路の泥上げ、清掃活動に構成員総出で取り組んでおります。また、6月と8月の土、日曜日には3年前から高齢農家の支援と不在地主所有地の草刈活動を実施し、農業者のみならず後継予定者、女性の方々、自治会会員の皆様方にも参加をいただき地域みんなで取り組む自慢できる活動の一つです。

環境保全活動では、4月と8月に地区中央を流れる高松川の清掃活動と簡易水質調査

を実施し、水生生物の棲みやすい環境の保持と後世にきれいな川を残すべく啓発活動にも取り組んでいます。

地域資源向上活動として11月から3月までの間、農道の敷砕石作業、土水路からコンクリート水路への変更工事、水路補修工事等を地区内の人たちで施工し現在まで水路延長74mが完成しております。

今後も農業者が中心となり、女性の方々、自治会会員の皆様方の協力のもと、みんなできれいな農村環境を守る活動の取組を展開して参りたいと考えております。



ゼニタナゴ生存環境(岩手県天然記念物)の保全活動①

矢沢地域の自然保護を考える会 会長 菊池 統一

平成17年に矢沢自治会内組織として、「矢沢地域の自然保護を考える会」が結成され、以来ゼニタナゴの保護活動を継承しています。また、矢沢地域振興会では交付金助成を行い支援しています。「矢沢地域の自然保護を考える会」の菊池統一会長に保全活動について寄稿いただきました。以下にシリーズとして数回に分けて掲載します。



生物調査

花巻市矢沢には希少生物が多く生息する地域があり、岩手県天然記念物の指定を受けています。私たちはその管理指定者として、保護活動をしています。

矢沢地域の自然保護を考える会の歴史

- ①H12 県内では絶滅したとされていたゼニタナゴが見つかり、北里大学で研究・飼育された。
- ②H13.12 ゼニタナゴの里帰り。行政、北里大学、地域関係者による保護活動開始。
- ③H17.3.15 矢沢自治会内組織として、矢沢地域の自然保護を考える会結成、保護活動を継承。
6.3 県・市・北里大学・土地改良区・自治会等参加で水辺環境を考えるWS発足。
7.30 第1回自然観察会実施。
- ④H20.3 自治会以外の参加者増加に伴い、矢沢自治会の外部団体として独立。
- ⑤H22.10.1 ゼニタナゴ生息地が県指定天然記念物に指定される。
- ⑥表彰歴：H18 県知事表彰
H23 岩手日日文化賞
H23 環境省功労表彰



タイリクバラタナゴ・モツゴ掬い

自然観察会(毎年1回開催)
コロナの影響で2年間中止していた第15回・自然観察会

矢沢地域の自然保護を考える会のメイン行事である自然観察会、絶滅危惧種1Aのゼニタナゴの生態、日常の保護活動について説明します。



ゼニタナゴが産卵する貝を採取

を7月31日、大森山山麓の溜池で開催しました。参加者は例年に比べ少なく、子ども9人、大人19人でしたが、子ども達や、童心に戻った大人が、水辺の生物調査や外来種駆除(ザリガニやタイリクバラタナゴ)、鮎釣り等で水生生物・昆虫との触れ

合いに興じました。また、岩手県天然記念物指定地域に生息する、ゼニタナゴ、ギバチ、金鮒、ゲンゴロ、ドブガイ等の希少生物展示で保護すべき在来種を学び、タイリクバラタナゴ掬いやザリガニ釣りを楽しみながら、駆除すべき外来種についても学びました。

「早起きマラソン」

高木団地早起きマラソンの会

令和4年度の花巻市早起きマラソンは5月8日より10月10日までの156日間で始まりました。

矢沢地区では5会場に於いて5月8日に一斉にスタートしました。

健康、体力づくりを目標に始められから今年で47回を迎えました。

高木団地会場の初日は37名の住民が集い、今も沢山の方が集まりコロナ対策を講じて続けています。

今年6月、7月、9月にクリーンマラソンを第2土曜日に実施します。会員数87名(登録者)10月10日



クリーンマラソンに参加の高木団地の皆さん(6月11日)

高木団地早起きマラソンの会
代表 佐藤 智明

まで元気にラジオ体操も含めて頑張ります。



ゼニタナゴが取れたよ!!

小学校コーナー

令和4年度の矢沢小学校の児童達の活躍を紹介いたします。コロナ禍ではありませんが、感染防止に努めながら日頃から努力し頑張っておりますので、今後とも、地域の皆様のご声援を頂きますようお願い致します。

(紙面の都合上一部割愛)



矢沢野球スポーツ少年団

- ◆県バドミントンシングルス大会
2年以下女子
準優勝 吉田 桜羽
- 5年女子
- ◆花巻市民スポーツ大会
柔道 5・6年男子の部
第3位 佐藤 洸
- 柔道 5・6年女子の部
第3位 菅原 侑里



矢沢オレンジソックススポーツ少年団

- ◆県バドミントンダブルス大会
5年以下女子
準優勝 吉田 羽那
- ◆バドミントン大会県予選会
(1・2年生) 女子の部
準優勝 吉田 桜羽
- ◆県学年別柔道大会
5年生女子40kg超級
第3位 菅原 侑里
- ◆県選手権水泳競技大会
学童男子100mバタフライ
第2位 押切 登煌
- ◆花巻・紫波地区ミニバスケットボール選手権大会
女子の部 第3位
矢沢ミニバスケットボールスポーツ少年団
- ◆「はなしん 児童桜の絵画コンクール」
1・2年生の部 理事長賞
2年 津田 芽愛
3・4年生の部 最優秀賞
4年 大木 昊陽
- ◆黒潮少年剣道錬成大会
小学校低学年団体戦
第2位 辰武館A
- ◆軟式野球交流岩手県大会
予選大会(花巻地区大会)
第1位
矢沢野球スポーツ少年団
- ◆花巻市小学校女子ソフトボール大会
第1位
矢沢オレンジソックススポーツ少年団
- ◆少年少女サッカー岩手ブロック花巻地区予選大会
第3位
ノーザンライズFC
- ◆花巻市サッカー大会4年生の部
第2位 矢沢FC

中学校コーナー

「県中総体」の結果

7月16日、17日、18日に第69回岩手県中学校総合体育大会が行われ、市の大会を見事勝ち抜いた精鋭たちが5つの競技に出場しました。今年度もコロナ禍の中、練習試合や交流戦などが十分にできない状況のもと、当日を迎えまし

- ◆県バドミントンダブルス大会
5年以下女子
準優勝 吉田 羽那
- ◆バドミントン大会県予選会
(1・2年生) 女子の部
準優勝 吉田 桜羽
- ◆県学年別柔道大会
5年生女子40kg超級
第3位 菅原 侑里
- ◆県選手権水泳競技大会
学童男子100mバタフライ
第2位 押切 登煌
- ◆花巻・紫波地区ミニバスケットボール選手権大会
女子の部 第3位
矢沢ミニバスケットボールスポーツ少年団
- ◆「はなしん 児童桜の絵画コンクール」
1・2年生の部 理事長賞
2年 津田 芽愛
3・4年生の部 最優秀賞
4年 大木 昊陽
- ◆陸上競技(盛岡市)
2・3年男子1500m
佐々木悠人
共通女子 800m
山田 桜果
2・3年女子1500m
兎澤 美咲
共通女子走高跳
川村 栗楠 第8位
- ◆柔道(盛岡市)
(女子団体)
1回戦○3-0 江刺一中
2回戦●0-3 金田一中
- (個人戦)
81kg級 菅原 誠生 1回戦敗退
90kg級 小松 要平 2回戦敗退
57kg級 中村 咲月 第3位
70kg級 太田 莉瑚 第3位
- ◆女子ソフトテニス(一関市)
(団体戦)
1回戦●1-2 重茂中
- (個人戦)
菊池 理央・松谷 美柚 1回戦●1-4
山内 愛裡・高橋 園葉 1回戦●1-4



矢中女子ソフトボール部

- ◆バドミントン(盛岡市)
(女子団体)
1回戦○2-0 下小路中
2回戦○2-0 大東中
準々決勝●1-2 矢中中
ベスト8
- (女子シングルス)
照井 仁奈 2回戦●
- (女子ダブルス)
石川 希音・杉山 愛来 1回戦●
- (男子ダブルス)
佐藤 奏汰・中屋敷祐太 1回戦●
- ◆ソフトボール(花巻市)
1回戦○15-0 黒石野中
※3回コールド
- 準々決勝○15-0 宮古一中
※3回コールド
- 準決勝○4-3 前沢中
決勝戦(不戦)川崎・藤沢・東山中
【大会規定により両チーム優勝】
【抽選の結果…矢沢中が岩手県第一代表で東北大会進出】

わが同好会の紹介 15
崇扇会

中島 哲子

私たちの崇扇会そうせんかいは、藤扇流ふじおきりゅうの日本舞踊を学んでおります。崇扇会は平成18年に発足し、踊り好きが集まり、会員の出入りがあつて、少人数ながら今に至っております。

踊りは健康づくりと、老いのボケ防止と考え、楽しく稽古を続けております。

毎年秋の県文化祭や新春の花巻舞友会の発表会に参加しています。

当センターでのお稽古は、今年4年目を迎えました。毎週



水曜日の午後に行っています。踊り好きの方、健康づくり、ボケ予防のためにご一緒しませんか。お気軽にご参加ください。お仲間をお待ちしております。



私のひとこと

似内 利正



今年の誕生日で満74歳になりました。まだまだ元気です。

すと言いたいところですが、様々な体調不良が出現してきて、確実に高齢化を実感しています。

私は四日町に生まれましたが、昭和53年に古館に引っ越し、この地にお世話になって今年で44年になります。その間、私のこども3人も高木幼稚園、矢沢小学校、中学校等を経て、そ

れぞれの仕事に旅立っていききました。

思えば、引越しの時の不安は今でも覚えております。初めてお会いする方々と上手にお付き合いできるだろうか、各々の地域性の違いにすぐ融合できるだろうか、新しい土地での期待感よりも不安の方が多かったような気がします。

しかし、そんな不安も杞憂にすぎないことをすぐ理解できました。隣り近所の皆さまの思いやりあるお付き合いに感動し、感謝の日々を送りながら、少しずつ半人前の住民になれたと思います。地域の方々に感謝の言葉しかありません。

古館自治会の班編成も、当時、私たちの班は4戸での運営から始まり、今では地域の方々も増えて7戸の皆さんで運営しています。良いいお付き合いをさせていただいております。

現在、花巻市体育協会の会長として非力ながら務めさせていただいておりますが、新型コロナウイルス感染防止に苦慮しながらも、あらゆる世代がスポーツに親しめる社会の実現に向けて、任期も僅かですが微力ながら頑張っていきたいと思っております。これからも、後期高齢化に向けて、挑戦者意識を忘れず生きていきます。

【編集後記】

新型コロナウイルスは一時減少の兆しが見え緊急事態宣言が解除され一気に解放された感がありました。7月に入ると再び急増に転じて第7波に突入してしまいました。今回は感染力が非常に強いとのこと。私たちが少し気が緩んできた感がありますが、改めてワクチン接種や基本的な感染防止対策を取っていききたいものです。しかし、いつまでもコロナ・

コロナで塞ぎ込んでみられません。上手にコロナ対策を取りながら以前の日常に戻りたいものです。実際、国では敢えて行動制限をかけないことから国民の行動が活発になつてきています。当矢沢地区の各地でも様々な行事やイベントが少しずつ復活してきております。本誌ではこういった各地の元気で明るいニュースをできるだけ多くお届けしたいと思っております。

(編集委員 佐藤 信一)



今年もきれいなサボテンの花が咲きました。(小田島美勝宅)